

2013年4月9日 12:20:19

タイトル

閉じる

印刷用ページ

授業科目名	科目区分	
Communicative English Ⅲ A (7)	コミュニケーション科目	
	時間割コード	
講義題目	041342	
英語プレゼンテーション演習	年度	時間割
	2013	前期 木3
担当教員	単位数	教室
長井 克己[Nagai Katsumi]	1	
	対象年次及び学科	
	2～ 全学共通科目	

関連授業科目

Communicative English I/II/IV

履修推奨科目

学習時間

授業90分×15回＋授業外学習

授業の概要

幅広いコミュニケーション能力は、香川大学の全学生がその習得を求められるスキルのひとつです。この授業では、1年次の授業（Communicative English I/II）で身につけた「英語を用いてコミュニケーションを行うための基礎的な能力」を更に向上させます。

授業の目的

この授業は受講生の英語プレゼンテーション能力の育成に重点を置いています。

到達目標

1. 英語を用いて積極的にコミュニケーションを取ることができる。
2. 自分の言いたいことをうまく伝えることができない時でも、ジェスチャー、パラフレーズ

（言い換え）などのコミュニケーション方略を用いて、コミュニケーションを継続することができる。

3. 英語で2分程度のプレゼンテーションができる。

成績評価の方法と基準

中間と期末の2回、20 unitsの中からテーマを一つ選んで2分間スピーチをする。第1回目の授業で配布する Rubric（棒読みしない、声が大きい、聞きとりやすい、結論が明快、の4項目を5段階で20点満点）を30/20倍して30点。2回スピーチをするので60点。その他の活動は40点。合計100点満点のうち、60点以上で単位を認定

授業計画並びに授業及び学習の方法

【授業の方法】

毎週 2 Units と 2 Slidesの中から、スピーチに利用できる表現を抜き出して覚えていく。各 Unit では、Step 2 で語彙と表現の確認をした後、Step 4の model presentations を聞き内容を理解する。次に声を出して読む練習を行う。最後に Step 7 を参考に英語で質問をしたり、それに答えたりする練習を行う。教科書のスピーチは語彙・表現とも高度なので、同レベルのスピーチを目指す必要はない。自分のスピーチに使えるような表現を探す素材集だと考えればよい。

【授業計画】

第1回：introduction to the course

第2～6回：two presentations and slides / week

第7回：tutorial 1

第8回 speech 1

第9～13回：two presentations and slides / week

第14回：tutorial 2

第15回：speech 2

【授業外学習に関するアドバイス】

各週の語彙・表現を復習し、自分で使えるようになっておく。

2回のプレゼンテーションの準備を行う。

教科書・参考書等

Textbook:

Kobayashi and Clankie. (2011).

Your First Speech and Presentation.

Tokyo: Nan-undo. (ISBN 9784523176626)

オフィスアワー

授業時に教員と相談の上、日時を決定して下さい。

履修上の注意・担当教員からのメッセージ

欠席回数が4回以上になった時点で単位不認定となります。遅刻は授業開始から20分以内までとします。それ以降は欠席の扱いとなります。